平成17年度決算に対する 各会派の意見表明・討論

平成17年度一般会計ほか、6特別会計決算を審査するため、今定例会初日に議長を除く全議員により、決算特別委員会（委員長　斉藤宗孝、副委員長　猿田博文）を設置し、10日間にわたり慎重かつ厳正な審査を行いました。

各会派から出された意見表明・討論の要旨は、次のとおりです。

官から民への精神で区民生活の向上を！ 練馬区議会自由民主党（15人）

平成17年度練馬区一般会計歳入歳出決算と6特別会計歳入歳出決算に賛成の立場から意見を述べる。

各財政指標及び普通会計収支の数値の大幅な改善は、志村区政が進める民営・委託化による行政コストの削減とそれに伴う区民サービスの向上をもたらした。一方、収支の改善をみたが、「東京富裕論」にある財政調整交付金の見直し論を鑑みると、より一層の財政構造の改革と歳入の努力を強く希望する。

以下、意見と要望を述べる。

1　総務費

①出勤・退勤の管理の徹底を。②防災無線のデジタル化を。③防災拠点の訓練に児童・生徒の参加を。④安全安心パトロールカーの貸し出し増を。⑤民間建物の耐震改修促進計画づくりを。⑥災害時対応へリポートの設置を。

2　区民費・産業経済費

①地域の町会、自治会、商店街の振興や農業団体との連携強化を。②（仮称）産業振興会館の早期建設を。③指定保養施設は子供料金の細分化と高齢者優遇を。④収納対策は更なる努力と収納一元化を。また収納員の増員を。⑤国保会計の歳入努力を。⑥督促状送付は細心の注意で。⑦商店街装飾灯は全て区が維持管理を。

3　保健福祉費

①敬老館の名称は親しみやすい名称に。②メタボリックシンドロームの予防対策を。③介護予防に柔道接骨師会や三医師会の活用を。④高齢者就業拡大のためシルバー人材センターの充実を。⑤生活保護の自宅担保貸付方式の検討と不正受給対策を。⑥介護における特殊寝台に助成を。⑦医師会健診センターのMRI機更新助成を。⑧区不妊治療助成の所得制限撤廃を。⑨介護保険改正を踏まえ区民要望に対応する体制作りを。⑩乳がん月間はピンクリボンの携行を。⑪福祉コミュニティバスの運行と体系の見直しを。

4　児童青少年費

①保育料の更なる収納対策と口座振替の勧奨を。②保育園のサービス向上のために更なる民間委託化を。③在宅子育て家庭向けに無料利用券の新規事業の展開を。④子ども医療費助成制度の年齢拡大を。

5　環境清掃費

①たばこポイ捨て・落書き防止対策の強化とキャンペーンの実施を。②練馬清掃工場の建て替えは十分地域に配慮して。③ゴミの減量化やリサイクルの徹底と最後はサーマルリサイクルの推進を。④清掃一部事務組合の体制改革を。

6　都市整備費・土木費

①倒壊寸前老朽建物対策の検討を。②江古田駅周辺整備と周辺道路対策を。③区内全踏切対策の促進を。④大規模建築物に係る専門家派遣制度のわかり易い周知を。⑤大江戸線大泉方面への早期延伸と補助230号線早期測量再開を。⑥環8道路の北町から南田中間に新規バス路線を。⑦生活幹線道路整備は計画通りの完成を。⑧牧野記念庭園の機能拡大と施設改修を。また商店街活性化との連携を。⑨特色ある公園造りと植木市の開催を。⑩花言葉と同様に木の言葉の命名を。⑪公園等の落書き落としは新素材塗料の使用を。⑫自転車運転マナー向上の啓発運動を。⑬道路不法看板対策は警察との連携強化と撤去ボランティア団体の活用を。⑭街路灯事業を拡大し電球交換は近隣工事店で。⑮保谷駅南口まちづくりと放射7号線の沿線まちづくりの検討を。

7　教育費

①私立幼稚園の環境整備の充実と保護者負担軽減費の補助額アップを。②体育館塗装に光触媒を。③LL教室の早期転用を。④総合体育館の改築と桜台体育館の耐震改修及び総合運動場の本格整備を。⑤部活動の外部指導員の有効活用を。⑥学力向上に更なる対応を。⑦学校給食を民間委託へ。⑧フッ素利用の虫歯予防は歯科医師会と連携で。⑨美術館の改革とトリックアート展の開催を。

8　歳入・公債費

①ミニ市場公募債の活用増大を。②高額税滞納者と軽自動車税未納対策の取組みを。公債権と私債権の担当一元化を。

教育・若者・少子高齢化社会対策に総力を！ 練馬区議会公明党（12人）

平成17年度練馬区一般会計・6特別会計歳入歳出決算について、賛成の立場から意見を表明する。行政改革により、財政構造の改善を図り、事業部制を導入し枠配分方式による予算編成と予算執行を図ったことを評価し、意見と要望を述べる。

〔総務費〕①本庁舎自転車駐車場増設を。②安全・安心パトロールカー増車を。③防犯防火情報メールで結果配信を。④耐震改修助成を。⑤期日前投票所増設と即日開票実施・開票時間短縮を。⑥政治活動用ポスター掲示期日徹底と裏打ポスターへの対応を。

〔区民費・産業経済費〕①住居表示に補助番号導入と老朽化した住居表示案内板改善を。②嘱託収納員増員とコンビニ収納拡大を。③町会掲示板修繕と町会加入促進支援を。④アトリウムコンサートの充実を。⑤指定管理者導入推進と公用で使用の場合は補填を。⑥広告収入で財源確保を。⑦悪徳商法被害防止支援会議設置を。⑧商店街マップ作成支援と電気料助成を。⑨振り込め詐欺防止出張講座開催を。

〔保健福祉費〕①音声誘導装置増設を。②医療連携相談窓口の充実を。③特別養護老人ホーム・認知症グループホーム整備を。④介護施設改修支援と民設老健施設の新設支援を。⑤一人暮らし高齢者の入浴証拡充を。⑥公衆浴場で介護予防事業を。⑦谷原フレンドの浴場を夕方以降近隣に開放を。⑧区内授産施設の工賃アップと障害者就労支援を。⑨前立腺がん・前立腺肥大検診支援を。⑩地域包括支援センターの職員研修実施を。⑪地域福祉パワーアップカレッジは団塊世代活用を。⑫福祉出前サービスを。⑬家庭相談の相談時間拡大を。⑭リハビリ従事者連絡会支援を。⑮特殊寝台購入助成を。

〔児童青少年費〕①地域活動スタッフ登録制度継続を。②学童クラブ児童の安全確保を。③大型児童館を谷原総合体育館改築時併設を。④子ども医療費無料化を中学校3年生まで拡大を。⑤保育園増設を。

〔環境清掃費〕①エコライフチェック事業拡大と環境家計簿作成を。②歩きたばこに罰金を。③容器包装プラスチック中間処理施設確保を。④廃プラスチック資源化とサーマルリサイクルを。

〔都市整備費・土木費〕①北大泉公園用地整備とトイレ設置、歩道の整備を。②高架下に自動二輪用駐車場を。③江古田駅周辺を文化芸術の拠点に。④樹木落葉対策と近隣対策を。⑤倒壊危険家屋対策を。⑥コミュニティバス新ルートは、交通不便地域に。

〔教育費〕①私立幼稚園入園料補助金増額を。②区立幼稚園で障害児受け入れを。③特別支援教育の充実を。④石泉地域に知的障害学級設置を。⑤発達障害児に人的配置を。⑥全小中学校に緑のカーテンを。⑦特別教室の暑さ対策を。⑧心のふれあい相談の相談時間や体制強化を。⑨放課後全児童対策を。⑩ブックスタート事業拡大を。⑪朝の読書運動推進と読み聞かせ講座を父親のために開催を。

〔公債費・歳入・特別会計〕①特別区民税収納率向上と小規模事業者へ特別徴収啓発を。②国民健康保険料の責任収納率達成を。③区立施設で当日利用を可に。④税制改正や少子高齢社会を見据え、堅実な財政運営を。⑤区の信用性につながるミニ公募債に。⑥不納欠損処理と消滅時効対策を。

71億円超の黒字、悪政で苦しむ区民に使え 日本共産党練馬区議団（7人）

一般会計、国保、駐車場の三決算の認定に反対する。

第一、71億円余の大幅黒字をだしながら、負担・増税で苦しむ区民の暮らしを守る自治体本来の役割を果たしていない。

第二、「官から民へ」と公的責任を放棄し、光が丘第八保育園など民間委託で混乱と質の低下を招いている。

第三、他区と比べて学校の耐震化は54％と遅れ、民間木造住宅の耐震改修助成は未実施で23区最悪。交通安全対策費も激減し、区民の願う安全の課題に答えていない。

第四、外環道など環境悪化や住民合意のない大型開発は無駄遣いである。

第五、「三位一体」改革や都区間の主要五課題など財源圧縮と、住基ネットなど悪政言いなりの区政運営。

練馬区は区民無視の姿勢を改め、区民が主人公の区政運営を図るよう、以下要望する。

①違憲判決のでた「君が代」斉唱の区民への押しつけやめよ。②自治基本条例には、主人公は区民と明記し、福祉増進は区の責務、重要事項決定に住民投票制度確立を。③増税で苦しむ高齢者に1万円の「緊急生活支援費」支給を。④個人住宅への耐震補強工事助成を直ちに実施を。⑤零細企業がより借りやすい融資制度の実施を。⑥練馬の農業を守るため、固定資産税、相続税の軽減求めよ。⑦区民健診を無料に戻せ。⑧取り上げられる介護ベッドや車椅子に支援策の実施を。⑨障害者の自立を阻害する「自立支援法」撤回求め、食費無料化と施設使用料の大幅軽減を。⑩非課税者のストマ器具は引き続き据置きに。⑪子ども医療費無料化は中学3年生まで直ちに延長せよ。⑫保育園・学童クラブの民間委託やめよ。⑬待機児解消のため区直営の保育園、学童クラブの増設図れ。⑭教育基本法改悪に反対し、基本法を生かした教育を。⑮少人数学級実現を。⑯差別・選別招く学力テスト結果公表と学校選択制やめよ。⑰普通教室にエアコン設置を。⑱有毒ガス発生の廃プラスチック焼却と家庭ごみ有料化やめよ。⑲外環道の都市計画変更案の撤回を。青梅街道インターチェンジと地上部道路設置もやめよ。⑳交通不便地域に100円で乗れるコミュニティバス実現図れ。㉑大型開発優先の基金ため込みでなく、区民生活守るために活用を。㉒国保料の値上げ負担増やめよ。㉓駐車場会計のあり方を見直せ。

立野小学校運動会

決算特別委員会

借金を先送りせず将来の不安をなくす運営を
民主新緑・無所属議員団（6人）

今、地方分権が進むと同時に全国的な税源の遍在を縮小する地方税財政改革が着実に進んでいる。国における新地方分権推進法の議論でも、税源の偏在を縮小するための改革が進むことは想像できるものであり、税源の減少が予想される東京23区である練馬区としても中長期的視点に立った戦略的な視点が求められる。

一般会計から各特別会計に支出している繰出金を見ると、17年度は178億343万7千円となっており16年度に比べ7億9千748万1千円、率にして4.7％増加しており今後も高齢化により医療保険事業の拡大は確実であり注視していく必要がある。

自治体の財政力を示す財政力指数が7年度の0.62から17年度は0.48となり都区財政調整交付金への依存度が高まっている。国における地方税財政改革の議論では都区財政調整交付金の主な財源である法人2税の改革が国、道府県、市町村を問わず起こっており、今後、東京都の法人2税は減少すると考えられる。自治体運営は自主財源で運営できることが理想であることから、区内で税収を確保できる体制作りが急務である。

17年度の事務事業評価結果では、899事業のうち成果が上がっているが546、上がっていないが353となっている。成果が上がっている事業も前回調査の70.4％から60.7％に低下していることから、より一層の事業の精査が必要である。

練馬区は地方税財政改革や高齢化の進展による福祉財源の増大など今後の財政状況は厳しさを増していくことは間違いない。今後も義務的経費の抑制に努め、財政構造の硬直化を招かないような区政運営を進める必要がある。基金残高に関しても17年度の基金残高は財政調整基金が123億5千800万円、特定目的基金が175億8千800万円の合計299億4千600万円となる一方で区債残高は958億5千万円で差し引き659億400万円の区債が残る。18年度は施設改修改築基金を大幅に積み立てて残高を415億2千200万円としたことは将来必ず必要となる経費を確保することで望ましい。今後は新たな施設建設などを極力必要最低限のものとし新たな区債発行を抑制するべき。将来の財政負担での区民の負担増を回避していくためにも財源を基金としてより確実に確保していくことを求める。

住民自治の推進と区民福祉の充実を図れ
社民党・市民の声ねりま（3人）

一般会計、介護保険会計決算認定に反対する。

新行政改革の委託化・民営化は直営が果たしてきた経験の豊かさと安定性を失い、質の低下を招いた。保護者の反対を押し切って年度途中に強行した光が丘第八保育園の大混乱は、まさにその象徴だ。

今回の介護保険の見直しは社会保障費の切り捨てと財政力抑制が柱になっている。施設の食費、居住費の自己負担増など問題が多い。

区長は区民の生活不安の拡大と社会的格差拡大での痛みをしっかり受けとめ、支援策を図り、住民自治の確立と区民福祉の充実に努めるべきだ。

以下意見・要望を述べる。

国勢調査の抜本的見直しを国に要請を。保育室の役割を重視した支援策を。児童虐待の著しい増加に実効ある対応策を。環8道路の安全対策を図れ。福祉コミュニティバスの見直しで交通不便地域の路線を含めた区内交通の確立を。

外国籍区民の区政参加を。消費者啓発は運営連絡会や消費者団体との協働で。八の釜の森は責任ある保全策を。介護保険「生活援助」の給付制限を改めよ。重度障害児にも放課後保育を。リサイクル雇上・委託の労働条件改善を。

障害者自立支援法の施設利用料は軽減策を。成年後見制度の一層の普及と活用の展開を。君が代斉唱は強制指導せず東京地裁判決「内心の自由」を尊重せよ。教育行政は教育職場の積み上げを尊重せよ。学校配当金、教材費の増額を。

区の責任で格差社会のセーフティネットを
生活者ネットワーク（3人）

新行革プランにより強引に委託化を進めた結果、公的責任が放棄され現場の混乱と行政不信を招いた。経済格差が拡大し不安定な社会にあって地方自治体の果たすべき役割は福祉の充実による地域社会のセーフティネットづくりと心得て、方向を見誤るな。

一般会計、国保会計、介護保険会計決算の認定に反対し以下、その理由を述べる。

①防犯カメラやパトロールは監視社会にならぬよう人権への配慮を怠るな。

②平和推進事業はコンサートに限定せず区民参画で。

③障がい者の福祉サービスは選択肢が少なく自己決定権が損なわれている。

④福祉園バスを改造して福祉コミュニティバスを運行したのは特定病院バスの既成事実づくりで税金の無駄遣い。

⑤子ども家庭支援センターは職員を増やし事例検討に子どもの人権専門家を入れよ。

⑥学力テストの学校別結果公表は学校選択制で格差を助長。公教育にあるまじきこと。

⑦順天堂病院前歩道橋建設費6億円、管理費600万円は無駄。車優先から人中心に変えよ。

⑧清掃一組と東京ガスの合弁会社設立はプロセスが不透明。出資分担金拒否を。

⑨地域住民の生活や環境を破壊する外環道・青梅街道インターと上部街路は必要ない。

⑩国保は税制・医療制度改正で更に負担増。抜本的解決を。

⑪介護保険は制度変更で利用者、事業者は混乱。準備不足の区の責任は大きい。

いまこそ「住民自治」に徹すべきとき
緑と自治（1人）

①昨年の枠配分予算は流用が目立ち不用額70億円増に。区民生活は苦しい。税の使い方に厳しさを。②新年賀詞交換会は、屋上屋を重ねている。中止を。③全戸数調査の国勢調査は、プライバシーの問題だ。見直しを。④人間に11桁の番号を付す住基ネットは、金喰い公共事業。区民へ説明し中止を。⑤児童虐待は乳幼児訪問ケアが重要。訪問体制の充実を。⑥清掃事業移管後の6年間は、一人も採用せず、現場の安全性が問われる。職員採用を。また、安易な廃プラ焼却を止めよ。⑦外環は八の釜湧水保護と地元住民の声に耳を傾けよ。⑧教育現場での国旗国歌強制はやめよ。

庁内の飲酒食の厳禁と清掃車に指示書整備を
市民ネリマ行革110番（1人）

①庁舎内で予算決算特別委員会終了後、各部署でお酒を伴った飲食の実体が判明。今後厳禁。②誓約書を提出させた上で飲酒運転を厳罰化し、区民の範となる様に。③全国市長会や特別区議長会会議時に、食事が出る場合、区長、議長は自費又は分担金の食事相当分減額支払いを。④費用弁償（日額旅費）は次年度予算策定時に区側が廃止提案を。⑤生産緑地の「放置状態、不耕作状態」が無いよう農業委員会と担当部局は区内監視徹底を。⑥雇上清掃車のダブル作業の際、待機場の指示書等の早急な整備を。練馬・石神井両清掃事務所で飲酒呼気検査実施と出勤確認徹底を。

●会派とは●

区政に対して同じような考え方や意見を持った議員の集まりです。

会派は、複数の人数で構成されますが、練馬区議会では、所属議員が1人の場合でも会派として扱っています。

平成17年度決算に対する各会派の態度

※自民党の議員数は議長を除いた人数　○賛成　×反対

会派名 ／ 会計	自民党 14人	公明党 12人	共産党 7人	民主無所属 6人	社民・市民 3人	生活ネ 3人	緑自治 1人	行革110番 1人	結果
一般	○	○	×	○	×	×	×	×	認定
国民健康保険事業	○	○	×	○	○	×	×	×	認定
介護保険	○	○	○	○	×	×	×	×	認定
老人医療	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
用地	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
公共駐車場	○	○	×	○	○	○	×	○	認定
学校給食	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

議会Q&A

Q 決算の認定とはどういうことですか？

A 予算が一会計年度における収入、支出の見積もりであるのに対し、決算は、収入、支出の実績であり、結果です。決算の認定とは、予算がどのように使われて、どのような成果をあげたかを住民の立場に立って批評し、判定することです。これは、予算の議決権に対応する議会の大事な権限でもあります。

万一、議会が不認定としても法的には決算の効力そのものには影響がありません。しかし、区長にとっては、住民の税金の使い方に問題があるとされた意味での政治的、道義的責任は残ってしまいます。